

令和8年 議案第1号

令和8年度教育行政方針について
上記の議案を提出する。

令和8年2月19日提出

みよし市教育委員会

教育長 増 岡 潤一郎

説 明

この案を提出するのは、令和8年度における教育行政方針を決定するため必要があるからである。

令和8年度教育行政方針

別 添

(当日配付)

令和8年度教育行政方針(案)

本年度、本市の教育行政は、今後10年間のみよしの教育の方向性を定めた“第2期みよし市教育振興基本計画 みよし教育プラン2035”を基に、目指す人間像「生涯にわたって自らを磨き、みんなとともに、心豊かな人生、時代、みよしを創る人」を育み、市民みんなが21世紀を心豊かにたくましく生き抜き、幸せを感じられるみよしの教育を推進していきます。

I 21世紀をたくましく生き抜く子を目指した

みんなが育つ共育・協育の推進（こどもの育ち）

○ 楽しい・行きたくなる「魅力ある学校」づくり

学校が「楽しい」「行きたくてたまらない」場所になるためには、学校が、子ども一人一人が主役となり、活躍できる場所にならなければなりません。そのために、子どもが主役で自身の成長を実感できる教育、自他を大切にし、少々のことにはこたれないたくましさやしなやかさを兼ね備えた心と体の育成、これらを実現する指導体制の整備を進めます。

本年度は、「こどもが伸びる・こどもが主役の学校教育」を目指して、「学ぶ楽しさを実感し生きる力を育む『みよしの授業』づくりの支援」「こどもが主体となって持続可能な社会の担い手となる基礎を育む特別活動・キャリア教育の推進」に取り組みます。また、「しなやかでたくましい心と体を育む教育」を目指して、「自他を大切にし、周囲と共に高め合う『みよし思いやり教育』の推進」に取り組みます。「質の高い指導体制・環境の整備」に向けては、「教育の質の向上を保障するチーム学校の確立と教育の働き方改革の推進」「ICTを活用した個別最適・協働的な学びを推進する環境の充実」を重点的に進めます。さらに、「安全・安心な学校づくり」のため、「防犯・防災・安全教育の充実と体制整備」、こどもの心の健康や異常気象への対応等を含めた「現代的な健康課題への対応」を進めます。

○ 多様性を認め、誰もが活躍できる学校づくり

学習や発達の特性、言語・文化の違い、ジェンダーの多様性など、子どもたちの背景や特性が多様化する社会で、自他の多様性を認めつつどの子どもも自分らしく活躍できる力の育成が急務です。そのため、包摂性を重視し、どの子どもも活躍できる学校づくりを推進していきます。

本年度は、「こどもが活躍できる場の創出」「包摂性を重視した学校教育の充実」に取り組み、さらに「多様な子どもを包括できる学校づくり」のため、児童生徒にとって居心地

のよい環境づくりに力を入れていきます。

○ 共育・協育の推進

家庭と地域、学校が協力して教育に取り組むことで、教育の効果は飛躍的に増大し、子どもたちが周りの支えにより、安心してのびのび生活したり、望ましいキャリアを形成したりすることにつながります。そのため、「共育・協育」を推進し、学校が抱える諸課題の解決に向けた学校運営協議会の体制整備、地域や保護者の協力が継続的に得られるように持続可能な地域学校協働本部の体制づくりを進めるとともに、学校教育や社会教育を包括的に支えることができる教育委員会体制の強化を進めます。

本年度は、「持続可能な地域学校協働本部の体制づくり」を進め、地域学校協働活動の充実を図ります。また、「学校・家庭・地域が一体となった取組」として、「学校運営協議会を核とした学校の課題解決の促進」を一層充実させるとともに、そのための「教育委員会組織の機能強化」を図っていきます。

II 地域との協働による市民みんなが育つ学びの場づくりの推進（市民の学び）

○ 市民みんなが学ぶ場を提供

人生 100 年時代において、市民が生涯を通じて学び続けることは、市民のより豊かな生活に欠かせません。本市では、そんな市民を支えるために、既存の公共施設やスポーツ施設・公園等の整備と活用、ライフステージに応じた生涯学習・生涯スポーツの充実、自主的に活動する地域や団体の支援等を行い、市民に学ぶ場を提供します。

本年度は、「施設・設備の整備と有効活用」として、「図書館学習交流プラザ『サンライズ』を拠点とした既存公共施設の利活用」について検討を始めます。また、「市民のニーズに応じたコンテンツの開発」として「人生 100 年時代のライフステージに応じた生涯学習・生涯スポーツの機会の創出」を推進するとともに、「地域や自主的サークルの活動支援」、「中央図書館を拠点にした市民の読書習慣の醸成」のために、市民の期待に応える中央図書館、サンネット図書コーナー等を充実させていきます。

○ 市民が学びを表現する場づくり

市民の学ぶ意欲の向上や他者とのつながりを深めるために、生涯学習で学んできたことを表現したり、生涯スポーツで身に付けたことを発揮する場を創出し、これまでの学びに価値を感じたり、他者と喜びを共有したりできるようにします。

本年度は、「文化・芸術活動の発表の場づくり」として「みよし音楽祭・文化展・文化祭・郷土芸能伝承活動発表会等の活性化」を促し、『するスポーツ』『観るスポーツ』活動の場づくり」として、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会を契機に「市内スポーツイベントの活性化」と「一流アスリートによる競技大会の応援・支援によるまちの活性化」

を積極的に行います。

○ みよしを好きになる学びの場の創出

みよし市が目指す「みんなで育む笑顔輝くずっと住みたいまち」を実現させるためには、市民同士がつながりみよしに住む人のよさに気づいたり、みよし市の魅力を再発見したりしてみよしを好きになり、市民としての誇りや喜びを感じる事が不可欠です。そのため、市民が仲間と共に本市の歴史や自然にふれたり学んだりできる機会や姉妹都市との交流活動の機会を創出し、体験的なふるさと学習を推進します。

本年度は、「郷土の歴史や自然にふれる機会の創出」「郷土のスポーツ、文化・芸術各分野の第一人者の活用」「スポーツ、文化・芸術による交流活動の推進」を積極的に行うとともに、大人を対象にした「体験的ふるさと学習の推進」にも取り組みます。

Ⅲ 人のつながりと学びを通した家庭づくり・地域づくりの推進

(Ⅰ、Ⅱの育ちを支える家庭・地域の教育力の醸成)

○ 家庭の教育力向上とつながりづくり

社会の急激な変化やこどもたちの生活様式の変化に伴い、家庭の孤立化が社会的な問題となっています。また、子育てを通じた家庭の教育力向上と家庭と地域、学校とのつながりづくりの必要性が高まっています。そのため、保護者が学校教育や家庭教育について学ぶ機会を充実させていきます。また、子育てを通して、保護者同士がつながることができる場や機会を設けます。

本年度は、「家庭教育に関する学びの場の提供」として、市専門相談員や県家庭教育コーディネーター等の積極的な活用による幼児期から思春期までそれぞれの段階における「家庭教育に関する学習機会の充実」を図るとともに、保護者の地域学校協働活動への参画を促すことにより「子育てを通じた保護者間、家族間のつながり」を構築していきます。

○ 地域の教育力向上とつながりづくり

近年、生活様式の変化により地域の結びつきの希薄化が進んでいます。それに伴い、地域が子育てや家庭づくりに関与しづらい状況が社会問題化しています。このような状況では、こどもたちや市民が地域やみよしに誇りや愛着をもつことも自助・共助の精神の涵養もままなりません。これらの問題の解決のため、地域学校協働活動を通して地域・家庭・学校が連携し、学校を核とした地域づくりを推進していきます。

本年度は、子育てを通じた地域と学校、家庭と地域、学校と家庭のつながりづくりを進めつつ、「地域学校協働本部の体制強化と活動周知のための取組の充実」を進めるとともに、学校ボランティア制度やこどもの地域貢献活動の拡充を図ります。また、これらの実

現のため、教育部と市長部局や地域の各団体との連携をより強固にしていきます。

○ 安心して子育てできる環境整備

子育ての不安や悩みを共有したり、相談したりする相手がない保護者が増えています。また、子育てに対する経済的な不安や保護者のキャリアの維持に関する不安も増大しています。これらへの対応として、切れ目のない相談支援体制を整えたり、経済面や環境面における子育て支援を充実させたりするなど、安心して子育てできる環境の整備に努めます。

本年度は、これまで本市が推し進めてきた子育て支援の充実を図りつつ、「切れ目ない相談支援体制」として、「0～18歳まで一貫して支援できる体制の構築」を目指し、就学前、学齢期、若者期の家庭支援の充実を目指します。

“第2期みよし市教育振興基本計画 みよし教育プラン2035”では、ここまでに掲げた方針のもと、374の取組を計画しました。本年度、特に力を入れていく部分については、新たな課題に対する内容が多くありますが、これまで同様継続して大切にしていける部分についても怠りなく実行し、こどもを中心に市民みんなの幸せを実現する教育を展開していきたいと考えています。

なお、実現に長期間要する施策につきましては、令和8年度、個別のプロジェクトチームを構成し、新しいみよしの教育の実現に向けてスタートを切ることとなります。庁内各部局、関係機関、市民、こどもたちの声を大切にしながら検討していきますので、全面的なご協力とご理解をお願いします。